実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和 8 年度
助成団体	一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（スポーツ）
事業名	第 16 回西日本選手権野球大会
助成金額	1,632,000 円

スポーツ団体スポーツ活動助成を受け、一般財団法人日本リトルシニア中学硬式野球協会が行っている「第 16 回西日本選手権野球大会」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、西日本エリアの中学生を対象に、チームプレイの大切さや野球の楽しさを体感しながら、体力・技術力の向上を図ることを目的として行われており、8月 7 日から 11 日までの5日間、広島県内を中心とした各会場において実施され、今年で開催 16 回目を迎えました。

■助成の意義

助成を受けることで参加チーム数を 16 から 32 へ増やし、多くの選手に試合や交流の機会を提供することが可能になったそうです。助成団体としても、傘下の中国連盟の新規発足を記念する大会として規模を拡大して実施できたとのことでした。

また、前年度よりもグレードアップした球場を使用することで、より整った環境で試合を行うことができたそうです。特に、大会最終日に使用した MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島は、プロ野球の公式戦で使用される球場でもあるため、勝ち残ったチームが同球場で試合を行えることは貴重な経験になるとともに、選手のモチベーション向上にもつながったとのことでした。

■事業効果を高めるための取り組み

運営にあたっては、賛同を得た地域企業等からの協賛金を活用するとともに、複数の民間助成金を獲得することで大会の充実を図っているとのことでした。また、地元新聞社から広告掲載の無償提供を受けるなど、地域の協力を得ながら広報活動に取り組み、大会の認知度向上につなげているそうです。

大会の安全管理については、熱中症対策として試合中に複数回クーリングタイムを設け、選手をベンチ等の日陰に退避させることで身体への負担軽減に努めているそうです。そのほか、安全確保のため審判用のヘルメットを準備するとともに、ケガや事故が発生した際には速やかに対応できるよう会場周辺の医療機関等と連携するなど、参加者が安心して競技へ取り組めるように配慮した大会運営を行っているとのことでした。

今後の課題としては、チームベンチの位置によって日なたと日陰の環境に差が生じる場合があることから、選手がより快適に過ごせる環境の確保が挙げられており、スポットクーラー等の導入についても検討しているとのことでした。

■所感

調査当日は 3 位決定戦と決勝戦が行われ、東海・関西・中国・九州の各連盟から勝ち抜いた 4 チームが勝利を目指して日頃の練習成果を存分に発揮する様子が見られました。また、選手らが真摯に競技へ取り組み、大会関係者や相手チームへの礼節を大切にする姿勢が感じられ、本事業が硬式野球の競技力向上だけでなくスポーツを通じた青少年の健全育成にもつながる貴重な機会となっていることが伺えました。

今後も継続して開催されることで、リトルシニアの育成および競技人口・競技力の向上に寄与し、西日本地域におけるスポーツ振興や交流活性化に貢献していくことを期待します。

（令和 8 年 8 月 11 日往査）

（写真）第 16 回西日本選手権野球大会の様子



